

新たな音の広がり求めて

Koto Collection Today

邦楽展

vol.35

久田典子。プロデュース

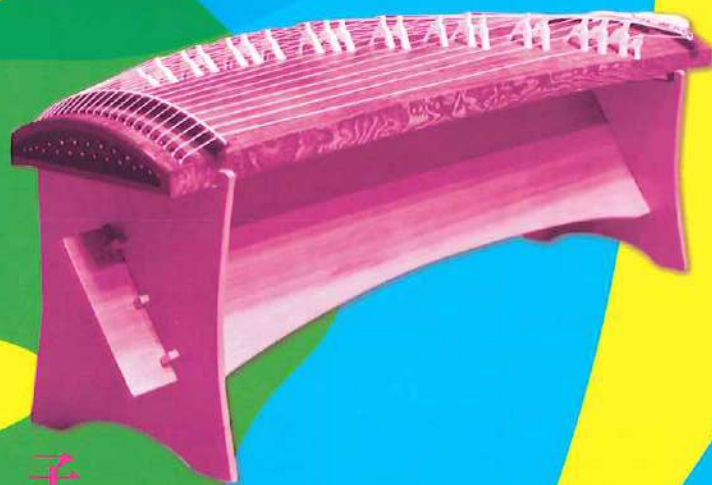
三枝成彰 — 烈風 (委嘱作品初演)

藤枝 守 — トリップティックへtriplych (委嘱作品初演)

堀井勝美 — The Way I Feel (委嘱作品初演)

久田典子 — Progression 2012 for 20-stringed koto

「Deep into the Forest II」 (委嘱作品初演)



[出演者]

吉村七重

黒沢有美

坂本ゆり子

下田れい子

田村法子

丸岡映美

2022年7月12日(火)

開演:午後7:00(開場:6時半)

[チケット] 4,000円(当日4,500円)

学生 2,000円

[会場] 東京オペラシティリサイタルホール

[助成] 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

[後援] 【一社】日本作編曲家協会、

【特非】日本現代音楽協会、邦楽ジャーナル

[主催] 吉村七重箏研究所

[マネージメント] 東京コンサーツ

[Special thanks] Ohno Takayo

[チケットご予約]

◎東京コンサーツ

HP: <https://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS> (座席選択可能)

◎カンフェティチケットセンター TEL: 0120-240-540 (平日10:00-18:00)

◎東京オペラシティチケットセンター TEL: 03-5353-9999

ご挨拶

今回の邦楽展も、これまでのように新作を委嘱しての公演となります。恩師である三枝成彰先生の新作と、三枝氏に師事した作曲家の作品で構成しました。三枝氏というオペラ作品を連想される方も多いと思いますが、2022年初演のピアノコンチェルトに続き、今回聴いていただく作品も氏の音楽を存分に感じていただけたらと思います。また独自の世界観をもちその表現をし続ける藤枝守氏や、フュージョン、ポップスの作曲家として数々の名曲を世に送り出している堀井勝美氏の新作もお聴きいただけます。

邦楽展との出会いにより、私の中の箏のイメージは大きく変わりました。特に二十絃箏は、もはや伝統音楽にとどまらない表現力で様々な体験が期待できる魅力的な楽器です。今回の作品も邦楽展の皆さんの演奏に触発され、音のイメージはより具体的なものとなって作曲する事ができました。CD作成時も新作も、話し合いながら練習を重ねていただき、一緒に育ててきた作品です。

この度の邦楽展では、ジャンルを超えて二十絃箏の表現の魅力を楽しんでいただけたら幸いです。

久田典子

曲目

(演奏順未定)

- 久田典子 —— Progression 2012 for 20-stringed koto 田村法子
「Deep into the Forest II」～二面の二十絃箏のための～(委嘱作品初演)
坂本ゆり子/田村法子
- 堀井勝美 —— The Way I Feel (委嘱作品初演) 黒沢有美 客演：カルロス菅野 (Perc.)
- 《休憩》
- 藤枝守 —— トリプティック < triptych > ～三面の二十絃箏による～(委嘱作品初演)
吉村七重/丸岡映美/下田れい子
- 三枝成彰 —— 烈風 ～四面の箏のための～(委嘱作品初演)
吉村七重/坂本ゆり子/田村法子/丸岡映美(十七絃箏)

プロフィール

三枝成彰



現代音楽は楽しくないというイメージを変えたい作品を書きたいと思っていたところ、吉村さんからよい機会をいただいたので、ひとつの挑戦として書いてみました。代表作にオペラ「忠臣蔵」、「Jr. バタフライ」、「KAMIKAZE-神風-」、オペラブック「狂おしき真夏の一日」、オラトリオ「ヤマトタケル」、映画「優駿」「機動戦士ガンダム～逆襲のシャア～」、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」。著書に「大作曲家たちの履歴書」がある。これまでに紫綬褒章受章、プッチーニ国際賞、渡辺晋賞、旭日小綬章受章、文化功労者顕彰を受ける。

堀井勝美



なんとか作曲のお仕事が途切れることなく、ここまで続けてこれました。有り難いことです。今回、人生ではじめて「委嘱作品」を作ることになりました。何度も「私でいいのですか?」と拒み続けてきましたが、本当はうれしかったのです。が、出来上がっても「これでいいのでしょうか?」という気持ちです。もし、良いものになったら、きっと黒澤様、菅野様のお陰です。曲はウェザーリポート、とりわけ敬愛するベーシストのジャコ・パストリアスさんの音楽をいつも意識しています。代表するお仕事：映画「ドラえもん」、TVアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」、「堀井勝美プロジェクト」、NHK朝ドラ「凧々と」「おかあさんといっしょ」「セサミストリート」など。

藤枝守



大学を退官したあとも、福岡と東京での気ままな生活が続いています。博多湾をのぞむ西戸崎に住み、伝説の島である志賀島を身近に接してきましたが、この春から福岡市内に移り住むことになり、チャージされた志賀島の神話的なエネルギーをどのようにアウトプットするか考えています。最近では、ヒマワリの電位変化データによって小泉八雲の短編「向日葵」にもとづくモノオペラや、富山の八尾に原生する椿からも作曲しました。今回の「Triptych」という新作も椿のデータにもとづいています。これからも植物との共生生活が続きます。

久田典子



海ガメと並んで泳いだことがあった。カメは横目でこちらを見ながらゆっくり泳いでいた。海の生き物が好きでしたが、ここ数年は森に興味が出てきました。木漏れ日がさしこむ森の風景も、突然天候が変わる様も、振り返った鹿と目が合った瞬間も、とても良い!と感じます。好きなものが増えました。今回の作品もその「好きなもの」を思いながら書きました。代表作：Led by the Yellow Bricks (Hat Hut Records Ltd.)、神話の国の心象風景(カメラータ・トウキョウ)他。

カルロス菅野 客演：打楽器



84年に松岡直也グループで活動開始。90年に「オルケスタ・デ・ラ・ルス」で世界デビューし国連平和賞受賞やグラミー賞にノミネートされる。95年に脱退後「熱帯 JAZZ 楽団」を結成しアルバム18枚とDVDのほか、スコアブックも多数発売され全国の吹奏楽団等から絶大な支持を受けている。

東京オペラシティリサイタルホール

〒163-1403 東京都新宿区西新宿 3-20-2

TEL: 03-5353-0788

京王新線 初台駅東口下車 徒歩5分以内